

令和7年度愛南ほっとミーティング 意見交換概要

	地区	要 望 ・ 質 問 内 容 等	回 答
1	一本松	身寄りのない高齢者が増加している。民間サービスでは莫大な費用がかかる。全国で九つの自治体が身寄りのない高齢者に対する取り組みをおこなっているようだ。愛南町でもそうした事業を実施してほしい。	どのような取り組みができるか、地域包括支援センターに投げかけて回答させていただきたい。 (地域包括支援センターより後日回答) センターでは、専門職を配置して、身寄りのない高齢者の困りごとを含め、あらゆる相談に対応しているので、困ったときは相談してほしい。九つの自治体は国のモデル事業として実施されており、今後、事業展開や制度化も検討されると思われるので、国等の動向を注視しつつ、適切に対応していきたい。
2	一本松	南宇和高校が全国募集をするということだが、鬼北や野村は立派な寮を作っている。愛南町でも、そのような施設をつくる予定か。	宿舎がないと来てくださとは言えないので、その予定だ。どのような宿舎がいいのか、教育委員会が先進自治体を参考に研究を進めている。予算もかかることなので、議会と相談しながら進めたいと思っている。
3	一本松	野良猫による糞尿の被害や鳴き声に困っている。野良猫の不妊去勢手術の実施や周辺環境の美化への取り組みなど、猫と共生する地域にしていきたい。去勢手術への補助金の拡充などもしてほしい。	個人で様々な取り組みをしている方には、この場をお借りして感謝申し上げる。 担当課では飼育のマナーやルールの周知や去勢手術等への支援を行うとともに、地域の実情に応じた取り組みと一緒に考えていくようにするので、ぜひ相談してほしい。
4	一本松	ペットボトルのゴミ出しの方法を問い合わせた際、担当者によって回答が違った。水漏れがあったときも去年はしてもらえなかったのに、今年はすぐ工事してもらえた。担当になったら、その係の内容についてある程度研修するなり、連携をしっかりとるなりしていただきたい。	連携が不十分であったことについてお詫び申し上げます。工事についても、できない理由があれば説明すべきだった。異動の場合の事務引継ぎや対応に関する説明責任を職員としてしっかりするよう徹底していきたい。
5	一本松	スポーツ合宿等であけぼのグラウンドやあけぼの荘の活用が多いようだ。防災の面からも、一本松地域に道の駅があればと思う。	観光施設をどういうふうにしていくかは、現在、商工観光課が「自分ごと化会議」で話し合いをしているところで、その結果を受けてからの話になっていく。一本松に道の駅をとというご意見をいただいたことは頭に入れておく。
6	一本松	トライアスロンやマラニックなどの企画や、高茂岬や石垣の里などの景観は、町外からもとても評価が高いようだ。住んでいると気づかないが、外から見ると非常に価値が高いものがあるのだとインターネットなどを見てみると気づかされる。閉校になってしまう篠山小中学校は木造でとてもきれいな校舎だが、今後どう活用するのか。	篠山の校舎は愛南町と宿毛市の両方の財産であり、利用方法については具体的に検討していない。どちらが利用するか、まずは宿毛市と協議が必要になる。愛南町が利用できるとなれば、まずは地域に声かけをし、順に広く検討していくという流れになる。
7	一本松	あいなん未来議会を見た。優秀な人材がいても、都会に出て行ってしまうのではないか、もったいないと思う。自分の頃は松下寿が誘致されたが、愛南町に留ませられるような何か方策はないか。	企業誘致は東京や大阪へ出張の際などに声掛けをしているが、厳しい状態である。誘致と並行して、今ある企業が能力を拡充して雇用を図れるようにもしていきたいと思っている。いろいろな人の知恵をお借りしたい。
8	一本松	前町長の際に、新しく避難所を作るという話があったがその予定はあるか。津波が僧都川を遡上して大久保山ダムが決壊したら、津波とはどこで合流するのかシミュレーションがあると聞いたがご存じか。避難所の受付けがスムーズにいくように、バーコードを活用するなどしてはどうか。	新しい避難所を作るよりも、最初に避難した場所でいかに過ごせるようにするかが大事だと考えている。 シミュレーションは私は見たことがない。机上の計算よりも、対応すべき課題に取り組みたい。 受付方法は、できるだけ簡素化できるよう、DX推進の観点からもどのような方法があるか考えたい。
9	一本松	地区が管理している町有林がある。何十年も植栽から間伐、枝打ちと続けて行っている状態だが、今後どうなるのか。	長年管理していただいて、感謝している。いくつか進めている話があるので、地区の思いを踏まえながら、持続可能な運営方法を検討していきたい。

令和7年度愛南ほっとミーティング 意見交換概要

	地区	要 望 ・ 質 問 内 容 等	回 答
10	一本松	旧庁舎や病院を含めた施設の計画を、魅力的なまちの景観づくりのために実行していただきたい。	病院の改築については、先進地視察をしたりして考え方をまとめていく予定だ。都市計画区域にすることも一つの可能性だが、デメリットもあるので色々考えたい。
11	久良	小学校の子どもが校区外通学している。保育所でできた友人関係を継続させたくて校区外通学を選び、自家用車や愛南バスを利用して通学しているが、それに対する補助が出るとありがたい。 保育所に入所するときは校区外通学では補助が出ないということも分からず、家から近いという距離だけで決めていた。	校区外通学の場合は、保護者の責任でお願いしているので、補助は出していない。周知不足な面はあるので、学校入学の際だけではなく、保育所に入る際にもそういう状況を伝えるようにしていきたい。
12	久良	平城小学校を經由して城辺小学校に行くとか、経費がかからないようなスクールバスの運行はできないか。	学校ごとにカリキュラムが異なり、通学時間や行事による休日が違ったりするので、難しい。学校規模や職員配置も違うので、全ての学校のカリキュラムを同じにすることもできない。
13	久良	校区を撤廃して、みんなが行きやすいように、使いやすいようにしたらどうか。今後学校数はどうなるのか。	子どもたちに安定して教育をしていくためには、校区は残すことが必要だと考える。学校の統廃合については、今回委員会を立ち上げて話し合うことにしている。
14	久良	お願いしていた県道の木を早速切ってもらってありがたいが、今の切り方では毎年切らないといけない。根元から全部切ってほしい。	道路に出た部分など、交通に支障がある分は切ることができるが、根元から切るには地権者とのやり取りもあり、木の処分の費用は高額なことも重なり、難しい部分はあるが、県の土木事務所や建設課にも要望は伝える。
15	久良	西予市の財政難が報道され、愛南町も厳しい、ふるさと納税がないと6億の赤字が出ると町長から説明があった。一番財政を圧迫しているのは人件費か。改善計画などは出ているのか。	人件費、物件費、補助金などが大きい。施設の数も多く、合併してからそのことに着手もできていなかった。人件費の増額もある。改善計画は作っていないが、その時期にきているのではないかと考えている。
16	久良	久良小学校は上の方にあるので、良い活用方法はないか。良い話があれば進めていただきたい。	久良小学校は高台にあるので、避難する場所としても貴重な施設だと思う。地元の方からご意見をいただきながら、一緒に有効活用について考えていきたい。
17	久良	久良小学校の体育館は避難場所になっているが、冷暖房設備がなく、夏に自主防災会で備蓄品をチェックする際も本当に暑かった。財政が厳しい状態と思うが、二次災害的なものを防ぐためにも設備を整えてもらえると助かる。	今すぐつけるとは言えないが、優先順位として、命を守るためのものには予算をつけていきたい。補助事業でつけられるものがないか見ていく。
18	久良	県道の下にゴミや缶がよく捨てられている。ゴミ袋に入れて捨てて帰っているのもあり、町が処分してくれているが、天巖鼻の方では道下が粗大ごみの山になっていたりもする。処分や撤去にもお金がかかるので、防犯カメラを何か所かつけてはどうか。	どれくらい防犯カメラが設置されているか把握していないが、調べて設置を検討する。
19	久良	見晴らしの良いところや、海の見えるところ、前はよく余所から来た人も車を停めて眺めていたが、木が茂り、最近はそうしたことがなくなった。観光的な資源のためにも、そうした景観の良い場所を作ってほしい。	予算のこともあり、優先順位をつけて取り組まないといけないが、県や国に要望していきたい。
20	久良	空き家が倒壊して近隣の住民に迷惑がかかっている部分があったり、避難路が通れなくなっていたりもする。町としてこの対策にどう向き合っていくのか。	空き家問題は、全国的にも大きな問題であり、個人の財産を町の権限だけで撤去するのは難しい。法律上の問題もあるので、専門的に取り組めるようなシステムにしていきたいと考えている。

令和7年度愛南ほっとミーティング 意見交換概要

	地区	要 望 ・ 質 問 内 容 等	回 答
21	福浦	御荘文化センターの音響設備、カラオケの音質・音量があまり良くない。カラオケ機器を持ち込んで接続しているが、音響が適切に設定されていないのではないか。	御荘文化センターの音響設備の状況や必要経費を調査・協議する。
22	福浦	高齢者タクシー利用助成事業について、町長からも説明があったが、武者泊地区は移動距離が長いので、平城地区などと同額の現在の1枚500円補助券50枚では少ない。増額していただきたい。	助成額はバス停までの距離に応じて決めている。特定地域だけ増額するなど部分的に対応するのではなく、宇和島自動車・あいなんバス・タクシーの三者を含めた公共交通全体の運用を見直す必要があると考えている。担当課にも伝え、全体のバランスと予算を勘案して検討する。
23	福浦	県道の沿道で樹木の枝が生い茂り海側の景観が見えなくなっている。観光面での魅力低下や、台風や大雨での崩落・倒木も懸念され、通行止めや停電につながる恐れもある。道路の拡幅の要望、通学路の安全確保などの課題はあるが、まずは伐採・剪定など樹木対策をしてほしい。	他の地区でも同様の要望が出ている。優先は安全確保のため、繁茂部分の伐採を進める。改めて土木事務所に強く要望していく。
24	福浦	武者泊公民館はエアコンがなく、地区行事で使用するのも大変暑い。そのためか参加者も減っている。エアコンを設置してほしい。	子どもが使用すること、避難所であることから、体育館のエアコン整備を優先的に進めている。公民館や分館でも既に整備されているところはある。エアコン設置の要望として受け取らせていただく。
25	福浦	一本松病院から週2回出張診療が来ているが、福浦公民館の駐車場が不足している。隣接の福浦相撲場を駐車場として使っているが、雨天時はぬかるんで使えないため、相撲場の一部を舗装していただきたい。	雨の日に駐車できず困るということなので、どのように舗装できるのか前向きに考えたいと思う。公民館行事、出張診療の受診の両方で利用できる駐車場として必要なので、地区要望として提出してほしい。
26	福浦	福浦のお薬師相撲は160年以上続く伝統行事であるが、人口減少の影響で参加者が少なくなっており、参加者確保に苦慮している。役場の職員に行事に参加していただき、地域活性化のために協力してほしい。スタッフ配置にも配慮いただきたい。	小学校の陸上大会で役場職員が審判で協力している例はあるが、地域行事の支援の例は把握していない。職員の支援により地域行事が継続できるのであれば、良いことだと思う。職務としての派遣は難しいが、各個人からの参加希望に対して、休暇の調整ができるのであれば対応したい。
27	福浦	旧福浦医師住宅について、売却の見込みはあるか。見込みがないなら、住宅から生い茂った雑木や雑草が近隣住民の迷惑となっているので、管理を適切に行っていただきたい。	医師住宅の状況が把握できていないので、担当課から回答させていただきたい。 (総務課より後日回答) 令和5・6年度に計4回売却公告を行ったが、入札者がおらず、売却できていない。樹木や雑草の管理については、定期的に草刈りを行うなど、適切な管理を行う。
28	福浦	人間魚雷「回天」や麦ヶ浦の基地があったこと、福浦湾入口に回天が5隻沈んでいることはご存じか。回天は日本に一隻もなく山口県にレプリカが展示されているだけなので、引き揚げを提案する。紫電改のときには観客が大勢集まり人気だった。紫電改とあわせて展示し、観光資源として活用すれば観光事業に大いに役立つと思う。	回天の話は承知しており、見つければ日本で唯一になると思われるが、爆発しない状態かも確認できていない。費用面より、爆発のリスク、漁業への影響など様々なことを考慮しないといけないので、県や国を含めた問題となるが、そうした話が出れば前向きに考えたい。
29	福浦	麦ヶ浦の暗渠にした道路の床版下部の鉄筋が錆びて剥落して、部材が川側へ落ちている。落下や陥没が目立つ部分もある。現時点で人的影響は出ていないが、崩落の恐れがあるので、修繕してほしい。	現場を確認して対応したい。

令和7年度愛南ほっとミーティング 意見交換概要

	地区	要 望 ・ 質 問 内 容 等	回 答
30	福浦	福浦では空き家が増加している。多くの空き家は老朽化、樹木の繁茂や越境など家屋の状態が悪化し、近隣の暮らしに悪影響が及んでいる。町として、今後空き家対策をどう進めるつもりか。	避難路や通学路付近の危険な空き家について連絡があった場合、町が所有者と連絡を取り、撤去を働きかけている。撤去費用には危険度や場所に応じて補助制度もある。現在活用する担当と撤去する担当が分かれているため、一元的に対応できるよう、組織を再編する方針だ。空き家バンクも含めて集中的に空き家の活用に関する体制づくりが必要だと考えている。
31	福浦	福浦公民館沖付近から福浦防災倉庫にかけての広大な埋め立て地のアスファルト舗装していない部分について、十数年前から要望しているにも関わらず、舗装されていない。地元の漁業関係者がボランティアで除草対策などしているが、高齢化による人手不足などで作業が進まない状況なので、早く舗装してほしい。	現在、国と協議しており、一定規模で整備すれば国の補助を得られる見込みだ。手続きが順調に進めば、令和9年度に施工することができるので、もう少しお時間をいただきたい。
32	平城	意見交換会では、誹謗中傷のないよう、意見するときは名前を言った方がいいと思う。	意見交換の際、匿名ではなく、名乗ってもらうことは、一つの考え方として正しいと思う。ただ、今回は顔を合わせての会であり、少しでも発言しやすいように名前は必要ないという考えで開催している。
33	平城	文化講演会の開催を要望する。愛南町出身の大成されている方、熱い思いを持たれている方を招いてできないか。また、海業を中心に愛南町をPRする取り組みとして、修学旅行の誘致をしてほしい。	高砂熱学の小島社長やゲームプロデューサーの岡本さんなど、全国的に活躍される方がいる。小島社長は、マラニックに社員20名と一緒に参加されるなど、支援いただいている。担当課へ伝え、どのような講演会が行えるか考える。修学旅行誘致についても担当課に伝える。
34	平城	御荘文化センターの美術品の管理を適切に行ってほしい。空調設備など、美術品によい環境で保管してほしい。	湿度や光などの管理が大切だと思うが、長く美術品の価値に見合った管理がされていなかったと思う。設備のリニューアルに合わせて、美術品の適切な管理方法についてご助言いただきたい。
35	平城	町内の行事がたくさん重なっている日がある。講師の都合もあると思うが、町民が参加しやすいよう、調整していただきたい。平城公民館のいろんな活動に参加しているが、500円や無料で参加できるのはすばらしい。事業縮小されないよう、継続を望む。	できるだけ重ならないように指導しているが、少しでも重ならないような手立てを取りたいと思う。公民館の取り組みについては、町の財政や職員の配置に見合った体制にする必要があるが、一気に縮小するという考えはない。
36	平城	タクシー券の補助制度はいい制度だが、タクシーの待ち時間が長い。バスも一日に少ししか運行がない。ライドシェアの導入を要望する。	ライドシェアについてはタクシー事業者と協議したこともあるが、今のタクシー台数が確保できなくなったり、実際に運用するのが難しいようだが、これから話し合いを続けていきたいと思っている。
37	平城	防波堤工事の影響か、地区の町道が浸かることがあった。金曜日に何人かが役場にかけたが、いろんな課につながった。担当がどこか分かるようにしていただきたい。結局月曜日に県の職員が来て、説明と処理をしてくれたが、すぐに直せなくても、休みや夜中の迅速な対応や、週明けには対応できるといった住民が安心する返事がほしい。	土日は県の職員が出勤しておらず対応ができなかったのでは。24時間体制で適切なサービスを行うことは難しいが、横連携をもっと取るようにし、対応していきたい。
38	平城	海辺を通る国道や県道脇の雑木の伐採をお願いしたい。せっかくの絶景が見られず残念。トライアスロンのコースの船越や国道の室手や須ノ川あたりをお願いしたい。絶景ポイントが増えると、地元の人にとっては郷里への愛着が強まり、観光資源の一つになると思う。	今までも多くの方から伐採の要望をいただいた。伐採が進みづらい理由の一つは予算だが、予算確保をしてもらえるように、国と県に強く要望していきたい。

令和7年度愛南ほっとミーティング 意見交換概要

	地区	要 望 ・ 質 問 内 容 等	回 答
39	平城	南宇和高校の令和9年4月の入学予定までに、新しい施設を建てると説明があったが、全国募集して何人来るか分からないうちに、赤字財政になりそうな状況で施設を建てるのは相反するのではないか。たくさんある空き家を利用して、人数が増えてから施設を建てるなら納得できるが、何人来るか分からないうちに計画を立てるのは疑問だ。	確かに現時点で、何人来るか確約できる状況ではない。空き家を利用すると、ある程度の人数が来た場合に、高校生と親御さんが安心できる状況で受け入れるために、空き家ごとの管理をする必要がある。一つの方法として、ムービングハウスという災害用に移動できるタイプの建物を導入する方法もある。南宇和高校を選んでもらうためには、管理面など安心して生活できること、管理人がついていることは大切な要素の一つになる。できるだけお金はかけたくないという気持ちは自分にもあるので、検討を続けていきたい。
40	平城	防災訓練の取り組みには地域差があるとお話があったが、私も地域に長く住んでいるが、1回も防災訓練に出たことがない。黒潮町に住んでいる娘は、1年に1回は必ず訓練があるようだ。愛南町でも大きな地震があったので、一斉訓練が必要だと思う。	愛南町で一斉訓練をする場合の優先順位として、まず地域で組織を作り上げて進めていく必要があると考えている。防災士の横連携の組織を今年中に立ち上げる予定なので、その組織と相談しながら、全ての地域で避難所までの経路を覚え、地域に応じた訓練や、手助けのいる方の支援の方法などを確立してほしい。様々な機関と連携した総合訓練を11月16日に深浦地区で行う予定だが、全地域が一斉に時間を決めて同じに動くという訓練は、どうすれば可能か担当課と検討していきたい。
41	平城	防災用品の補助金があるが、5種類以上購入しないといけないという枠をなくしてほしい。懐中電灯や携帯ラジオなど、既に家庭で持っているものもあるので、なくなりやすい保存食の分を補助していただきたい。	そういった要望を聞いたのは初めてだが、担当課にも確認し、同じような要望が多いようであれば、柔軟に対応できるようにしていきたいと思う。
42	平城	町長から愛南町は非常に苦しいので、助成金や補助金など革新して考え直したいというお話があったが、同感だ。昨年、ご夫婦で愛南町へ移住された方が、「愛南町はいろんな補助金があってすごい」と話された。確かに良いことだが、それも町民の税金であり、国の交付金も削られるなか、町民の意識改革も必要だと思う。何でも町にお願いする考え方は改めるべきだと思う。	補助金は、愛南町は他の市町に比べて充実していると思う。持続的なサービスのために、見直しの必要はあるが、まずは、物件費や役場で使うものを見直しをしていく。そのうえで、今までどおりは難しいですと町民の方に我慢してもらうお願いをすることもでてくるかもしれない。
43	平城	徳島県では9割が防災士の資格を取っているところがある。職員は愛南町の各地域にいたので、その職員が防災士の資格を持つことは、住民にとって安心感がある。町民の生命と財産を守る観点から、ぜひ考えてほしい。	今回防災士の受験が愛南町でできるため、職員にもかなり声をかけて受けるようにしている。 職員が防災士の資格を取ることで、職員に対する信頼も増すと思うので、今後も職員の防災士を増やしていきたい。
44	平城	西予市は、5年前の豪雨災害で予算を使ったため、貯金が38億から2億になったと新聞で見た。愛南町も災害が想定されているなかで、今後の災害のための貯えをしていただき、町民も身を引き締め、次の世代の30代40代が安心して住める町にしていきたい。	西予市と愛南町の大きな違いの一つがふるさと納税の財源である。ふるさと納税の4割前後が町として使えるお金となるが、全てを将来への投資に仕えていない。若者が一度都会へ出て帰りたい町にするための持続可能な予算執行の見直しは喫緊の課題だ。愛南町も災害のための貯金はしているが、西予市と同じような災害があれば、一気に減る可能性があるため、十分備えていきたい。
45	平城	今年防災士会が立ち上がると言われたが、それは男性だけか。女性も加えての防災士会か。	防災士の資格を持つ女性の方はたくさんいるので、女性も一緒に加わった防災士会とする。

令和7年度愛南ほっとミーティング 意見交換概要

	地区	要 望 ・ 質 問 内 容 等	回 答
46	平城	広報あいなん10月号で出生数が0だった。初めて0を見て、異常なスピードで人口減少が進んでいると感じた。婚活の事業もあると思うが、愛南町の結婚適齢期の方に結婚する意識の向上の場を作り、結婚したら住むところもサポートするなど、結婚しようという気持ちになる取り組みをして、人口減少に歯止めをかけることができればと思う。	婚活の事業をいくつか展開しているが、成果をあげていない。結婚後の支援や出生後の子どもさんに対する支援もかなり用意している。まず結婚していただくことが重要なので、もう一度考えていく。
47	城辺	学校がどんどん廃校になっているが、そこをどう利用しているのか。	西浦小学校は「うみらいく」という名前で、愛媛大学の3・4年生が南水研として活用している。深浦小学校は「あいなん幼稚園」として活用しており、菊川小学校は「社会福祉協議会」が入っている。満倉小学校は、少し学校に行きづらくなった子どもたちの受け入れ先として「子ども支援センター」として活用している。長月小学校は、ずっとではないが、南海トラフ地震等が起こった際、警察庁舎が津波で使えなくなった場合に警察が使えるようにしている。まだまだ閉校になっても使われていないところもあるので、地元で利用したいという声があれば優先的に使ってもらいたい。それがなければ、企業や町外含めて活用を図りたいと思う。
48	城辺	元幼稚園の跡地について、久しぶりに通ったら整地されて車がたくさん停まっていたが、どういう方が停めているのか。料金は取っているのか。	町職員の駐車場として使っている。料金は取っていない。 南宇和高校の全国募集の寮整備の候補地の一つにもなっている。できるなら活用していきたい。
49	城辺	家の前の道が、役場職員の行き帰り、特に昼間にすごく混んでいる。時間をずらすか、別の通路を確保してもらいたい。その道は照明もないので、夜も真っ暗だ。	ご迷惑をおかけしているのは申し訳ない。どういう解決策があるか難しいが、実情は分かった。 照明については、地域で相談して必要ならば地区要望してほしい。
50	城辺	鮪越に行く道の途中に何回か掘り起こして埋めたりしていた場所があるが、そこは何に使う土地なのか。	一時期残土処理に使用していたが、その後は把握していないので、確認する。 (政策推進室長より後日回答) 南レクの公園として利用するための県所有の土地である、谷地だったところを、県道工事の残土を利用して平地にしたものである。町としては、財災害時における仮設住宅建設の候補地の一つとして検討している場所である。
51	城辺	愛南CATVで放映されている松山大学法学部リレー講座で、商工観光課職員がふるさと納税について、とても良いプレゼンテーションをしていた。 あいなん未来議会、投票率の向上や郷土愛の醸成、後々の立候補者につながると思い、とても素晴らしいと感心した。 BOOKピクニックも子供たちの将来が明るくなる事業で、補正予算に賛成された議員の方にも感謝したい。 南宇和高校は農業科をはじめ、がんばっていて愛南町に南宇和高校ありと存在感を示しているので、これからも魅力化推進事業を進め、南宇和高校の全国発信、期待している。 公民館活動のアラスカフォトライブも、盛大で素晴らしかった。これからの公民館活動の模範となるべき事業だった。 これからも町政に期待している。	たくさんお褒めいただき、ありがたい。 松山大学リレー講座は、愛南町のがんばりを大学生に上手くPRしていた。 あいなん未来議会は、高校生議員の質問の切り口がすごく将来が楽しみ。若い人たちの意見交換の場は持ち続けたい。 BOOKピクニックは作家の早見先生が講演の際に「このままだと愛南町から書店がなくなる」と話されたことから、書店の支援にもなればと始めた。親子で事前に本を選びに行く姿も多く見られ、子どもたちが本屋に行くきっかけにもなったと思うので続けていきたい。 アラスカフォトライブには150名ほどが参加された。良い取り組みは少しでも多くの方に参加してもらえようようにしたい。 評価をしていただいたことは大変うれしく、職員の励みになり、仕事へのモチベーションにも繋がる。これからも皆でがんばる。

令和7年度愛南ほっとミーティング 意見交換概要

	地区	要 望 ・ 質 問 内 容 等	回 答
52	城辺	広報あいなん11月号でコンビニ交付サービス事業のことが載っていたが、どう いうものか。	今まで、役場の開いている時間しか住民票等が取れなかったが、マイナンバー カードを持っていればコンビニでいつでも取ることができるというサービス だ。全国的に取り組みが進んでいて、愛南町でも始めた。
53	城辺	城辺の商工会の裏の溝を底上げしてもらったり、公民館まで来る途中の狭い道 路に地震で穴が開いたのを早急に直してもらったり、ありがたい。大森山の木 がだいが茂って、蓮乗寺川に覆ってきている。大雨になるとそこにゴミが溜 まって不衛生だったり、水が流れなくなったりと心配だ。木が生えている場所 は県の管轄らしいので、県への橋渡しをしてほしい。	各地域から要望があったものは、各担当課が現場確認をして対応を検討してい る。全地域で見えて優先順位を決めるので、すぐに対応できないこともあるが、 要望については担当課に伝える。 県の管轄のところに関する要望は今までのミーティングでも何か所か出ている ので、まとめて県に伝えるが、こちらも予算の関係、優先順位があるのでそれ については了承いただきたい。
54	城辺	タクシー券をもらえるようになったが、タクシーが混んでいて、なかなか利用 できない。なんとかならないか。	タクシーが混んでいて、なかなか自分が思う時間に使えないという声は聴いて いる。タクシー会社が一社なくなったことも影響しているようだ。 総務課で定期的にタクシー会社と話合いの場を持っている。人を増員して台数 を増やすというのは厳しい状況とは思いますが、そうした声は伝える。 早め早めに予約するなどしてほしい。
55	城辺	9月議会で公用車を16台削減するという話があった。4台ずつ4年間かけて処 分ということだったが、1年で16台全部処分した方が無駄が省けると言うがど うしてか。	公用車が多すぎるというご指摘もあるが、一方で現場や家庭にすぐ来てほしい というときに、車がないということもある。 100%稼働だと車はないので、50%稼働でも、来てほしいときに車がないとい う状況は困る。一気に16台なくしていくと、そういう弊害が出る可能性もある ので、調整しながら徐々にという計画を立てた。
56	城辺	順番に区長が民生委員をしている。若い人はなかなか来てくれない。年齢の 上限をなくしてもらえないか。	引き受けていただきありがたい。委員選任のシステムが把握できていないの で、担当課から回答する。 (保健福祉課より後日回答) 民生委員の選任は、厚生労働省の要領に基づき、75歳未満であることを目安に 行っているが、地域の実情を踏まえて、75歳以上の方をお願いするなど弾力的 な運用も可能である。なり手不足は全国的な課題で、次回改選時には、行政協 力員（区長）と相談をさせていただきたい。
57	城辺	子どもが幼稚園に通っているが、全園児が8名で、年少児は1名である。これ から増える見込みもみえないが、幼稚園と保育園が一緒になった「こども園」 は検討しないのか。	「学校の未来を考える会」を今回立ち上げる。幼稚園は教育委員会管轄である ので、小中学校と併せて、幼稚園についても、どのような体制や教育の仕方が いいのか、その会の中で一緒に議論していく。
58	城辺	高茂岬に行ったら、灯台までの道のりがきれいに伐採されていた。国立公園で 自然豊かな場所だと思うが、それを加味しての伐採なのか、景観メインの伐採 なのか。	環境省と、観光地としての景観と自然保護の両立を図る中で、このくらいは伐 採可能ということを相談したうえで伐採している。 愛南町の観光スポットの一つとしてうまくPRできればと思う。

令和7年度愛南ほっとミーティング 意見交換概要

	地区	要 望 ・ 質 問 内 容 等	回 答
59	城辺	愛南CATVにインターネットの申し込みに行ったが、町の設備なので、CATV単独の判断ではサービスは提供できないと言われた。町が進めたら、コスト半分でできると説明を受けたが、どういうことか。	愛媛CATVとNTT西日本と愛南町とが関わって、事業を進めているが、詳しくは担当課からの回答させていただきたい。 (総務課より後日回答) 愛南町の情報通信サービスは、電話やインターネットなどの通信をNTT西日本、テレビ放送を愛媛CATVが提供という役割分担で運営している。 今後愛媛CATVが愛南町でインターネットサービスを提供する可能性が全くないわけではないが、NTT西日本、愛媛CATVと愛南町の三者で、設備面、費用負担、サービス内容等、十分に協議したうえでの判断が必要となる。「コストが半分になる」との説明は、現時点で愛南町として具体的な方針や合意があるわけではない中での説明であり、代わってお詫びする。
60	城辺	「戻りがつお奨励金」は、大学卒業してすぐでなくても、卒業後10年以内にUターンすれば奨励金が出るということか。	10年以内に戻ってきてくれれば、10年かけて奨励金を支払う。大学だけではなく、専門学校等でもかまわない。愛南町には大学などがないので、進学にはどうしても愛南町を出ていく必要があり、そのためにお金を借りる必要がある家庭も多いので、その支援をしたいと思い作った。それ以外の家庭の支援も近いうちに議会と共有して、示したいと思っている。愛南町に帰ろうかどうしようか迷っている若い子の一つの後押しになればと思う。
61	菊川	今の取り組み自体は間違っていないが、生活が成り立つための受け皿づくりが重要だと思う。昔は農業だけで成り立っていたのが、生活の基盤が変わり、それだけでは成り立たないので、皆他所に仕事に出ていった。生活が成り立つための産業、基盤づくりをしないと駄目ではないか。	真珠産業では、海洋資源開発センターで稚貝の作って出す取り組みを推進して、母貝養殖業のバックアップをしている。魚類養殖については、漁協が販路確保のために海外への販売に取り組んでおり、そこに支援をしている。 愛南ゴールドを扱っている組織を会社化して雇用の支援をしたり、好調なふるさと納税に力を入れる企業も出てきたので、そうした部分への支援もして雇用がうまれればと考えている。一つだけで一気にうまくやることは難しいが、それぞれの分野に対して支援などの取り組みを行っているところだ。東京や大阪に出張に行った際は、企業誘致のお願いもしているが、すぐには結びつかないのが現実なので、粘り強く続けたい。 「戻りがつお奨励金」のような愛南町に戻るためのきっかけづくりの制度とセットで、産業振興にはこれからも全力で取り組んでいく。
62	菊川	相続登記について、菊川でも6人で共有名義の土地がある。他の地区でも結構あると聞いているが、その名義変更に対して何か考えているか。できれば町で、名義変更の仕方の説明会をしてもらえないか。	地区所有の土地を地区名で登記できていたのができなくなり、一人の名義は怖いということで何人かの名義にすることが出てきた。その後、きちんと登記しないまま次の代になっていって、名義変更のためにたくさんの方の了解を得ないといけないので、相続登記は全国的な難しい問題だと思う。 法律的なこともあるので、担当課から回答したい。 (総務課より後日回答) 認可地縁団体が所有する不動産が複数の個人名義になっている場合の登記の移転については、町が公告する方法による特例があり、要望があれば個別に説明をしている。町内には19団体があり、全体に説明を行っても、実際に事案が生じた際には個別対応が必要であるため、随時個別に対応するようにしたい。

令和7年度愛南ほっとミーティング 意見交換概要

	地区	要 望 ・ 質 問 内 容 等	回 答
63	菊川	町道をよく歩くが、何か所も陥没地点があり、区長にも見てもらい、写真を撮って要望したが、ずっと直っていない。放置していたら、要望した時より状態が悪くなり、費用もかかるようになる。なぜ早くしないのか。	要望があった現場は確認して、状況により、予算があればすぐ直せることもある。町内でかなりの要望があり、危険性が高いなど優先順位を決めて行っている。現場について確認する。 (御荘支所より後日回答) 御荘支所と建設課が現場確認したところ、地区要望のあった場所ではなかった。確認後、補修を行った。
64	菊川	いろいろと町が取り組んでいることの説明があったが、それらを一つずつ丁寧にやっていっていただきたい。愛南町に来たら子育てにお金がかからないし、教育も行き届き、大丈夫だと実感できることを増やしていただきたい。また、今の子どもだちに、愛南町が好きだ、将来愛南町に残るんだ、残ってこれをやりたいんだということを考えて実行させることが大事だと思う。町を存続させるため、本当に人がいなくなってしまう前に、いろいろな取り組みを続けていただきたい。	愛南町にやっぱり帰りたい、町に愛着をもってもらえるような、学校から含めての取り組みをもっと強力に推し進めていきたいと思う。南宇和高校生と「あいなん未来議会」を開催したが、職員も高校生といっしょになって、どんな質問にするか、みんながどういうことを望んでいるかやり取りをさせてもらった。そういう若い人ともっと関わりあいを持ちながら、将来どういうものがあれば帰ってくる可能性が高いのか探る必要があると思う。地道に取り組んでいきたい。
65	菊川	町長公約に「住民との対話」があったと思うので、このような場を開いてもらってありがたい。前向きな姿勢がみられて大変良かった。職員の対応はどの課でも非常に親切丁寧に感じる。また整理整頓ができていて気持ち良いと思う。町民が死亡した時に、町長はじめ三役が弔電を出す、出さないの規定はあるのか。	職員の対応を褒めていただきありがたい。職員も町民の皆さまにサービスが提供できるようにがんばっているので、職員の励みになる。弔電については、死亡届提出の際に家族に確認して、出す出さないを決めている。
66	菊川	紫電改の移転の際に、ブルーインパルスを呼ぶというのが実現されるといい。皆関心があるので、実現されれば、町内外から見に来ると思う。何時どこを通るか防災無線などで広報してほしい。	すごく夢のある話だ。どうすればブルーインパルスを呼べるか分からないが、紫電改を含めた施設は全て愛媛県所有なので、愛媛県自体がどう考えるかになる。
67	菊川	昔は30校ほどあった小中学校が、今は13校になっている。活用されている校舎もあるが、そうでないところもある。そうした校舎は今後どうなるのか。	閉校した後の流れとして、公共的に使用したい場合は、地元の了解を取りながら地域の住民サービスに繋がる部分を提供させてもらう。地元にも活用について要望を取りまとめている。それがいい場合は、対外的に企業などに投げかけをしている。要望があれば、地元の了解を得て使えるようにするが、全国的に閉校も多く、なかなか活用に結びつかない。地元の意向を聴きながらしているので、活用の要望があれば教えてほしい。 耐用年数が過ぎて危険な場合は、中浦小学校のように解体撤去するしかない。体育館は地元がスポーツや地域行事で使用したりしていることが多い。
68	菊川	30代で子どもが3人いる子育て世代だ。町は色々取り組んでくれているが、一番力を入れてほしいのは雇用の創出だ。子育て環境が整っていても、お金を稼ぐ場がないと子育てできない。自分は町外で働いていたが、地元で生計を立てる道がみつきり帰ってきた。一次産業に限らず色々な産業が発展していけばいいと思う。同世代は県外にいる者が多く、帰りたいと思っている者も複数いるが、就職のニーズに合うものがないようで、自分も人を雇うまでの余裕はない。町内にはノウハウを持ったベテラン農家も多いので、そういう方や自分のような農家に対して、雇用する収入が出せるような支援があればありがたい。	愛南町に戻ってきていただいてありがたい。 一次産業が、親から子への世代交代、経営がうまく委譲できない理由の一つは法人化していない部分がある。きちんとした取り組みの中で次の世代に移すため、起業家を進めていくため、役場だけでなく商工会等にもそうした声を伝えたいと思う。 愛南町の有効求人倍率は高いが、なかなかマッチングしていないので、就職支援センターや商工会などがもっと連携を密にするようにしたい。

令和7年度愛南ほっとミーティング 意見交換概要

	地区	要 望 ・ 質 問 内 容 等	回 答
69	魚神山	<p>一番心配なのは、やっぱり地震のことだ。避難場所に指定されている場所はあるが、いつ地震がくるか、時間も季節も分からないなか、場所だけ指定しているような状態だ。電気や虫対策など町はどう考えているのか。</p> <p>5・6月頃の新聞の記事で、国から半島地区に災害に対する支援のことが載っていた。そういうものは使えないか。</p> <p>避難場所がちゃんとしていない。高知県は避難タワーがどこに行ってもあつたりするが、愛媛県、愛南町はちょっと少ない気がする。</p>	<p>防災に対しては地域ですごく差があり、避難場所に避難倉庫があり、その中にテントを置き、テントを立てる訓練をしている地域もある。夜間避難訓練をして、県の補助金で誘導等を整備した地域もある。訓練をする中で、足りないものも分かると思う。</p> <p>高知県は、津波が来る時間が短いので、平地では避難タワーが県がバックアップをして整備している。愛南町は避難道を整備していく形でしている。</p> <p>魚神山地域の避難場所のこと、半島地域に対する支援「半島振興法」のことは、担当課から回答する。</p> <p>(防災対策課より後日回答)</p> <p>「半島振興法」は愛媛県では佐田岬が指定されている。指定を受けるためには愛南町と宇和島市とで半島振興計画案を提出する必要があるが、趣旨は半島地域の振興のため、振興施策を主体とした計画を策定する必要がある、その一部に防災が含まれるものとなる。由良半島を含む内海地域に一定期間避難生活できる避難場所がないことは課題であり、新たな施設建設は難しいが、少しでも負担軽減できるような対策を検討する。</p>
70	魚神山	<p>地域の幹線道路は一本道で、タクシーや愛南バスでは自由がきかないので、まだ運転している方が多い。県土木がパトロールに来て、道路に落ちた物や土は整備してくれるが、木は伐採してくれない。地域の所有者をたどってお願いして切ったこともあるが、県に切ってもらえないか。</p>	<p>今回ほっとミーティングで各地域を回ったが、一番多かった要望は木の伐採のことだった。県道が多かったので、愛南土木の所長には伝えてあり、最終的にはこれだけの要望があったと伝える予定だ。町道に関しては、支所に連絡してほしい。通行に影響があるなど、危険がある場合は伐採できるが、根元からの伐採は地権者の了解を得る必要がある、対応できない場合もある。</p>
71	魚神山	<p>県道の草刈はしてもらっているが、土砂は除けてもらえない。草刈のときに一緒に土砂も取ってくれるようお願いしたが、断られた。須下峠のカーブは山沿いから土砂が落ちていることが多く、先日も離合のために山の方に避けたら、タイヤがパンクしてしまった。</p>	<p>ある程度の土砂が落ちた場合は、通行に支障があるということで撤去している。愛南土木に要望する際に、土砂の件についても伝える。</p> <p>(内海支所より後日回答)</p> <p>現場確認し、建設課に報告。建設課より土木事務所に連絡した。</p>
72	魚神山	<p>内海の柏に来て20年経ったが、人口が極端に減ってきている。愛南町は出産可能な女性の人数の減り方が大きいそうで、人口減少に一番影響があるので、そうした女性が町に残ったり、来てもらえるような手立ては考えているか。</p>	<p>生まれる子どもの95%は、20歳から39歳の女性による出産と言われている。この年齢層の女性がいかに増える政策をするかが大きな課題だ。</p> <p>子育てしやすくするための取り組み、結婚支援の取り組み、戻ってくるきっかけづくりの「戻りがつお奨励金」、産業振興の取り組みと、様々な取り組みをセットでしていく必要があると考えている。</p>
73	魚神山	<p>西泊の教員住宅が道路端にあるが、閉校してから誰も入居しておらず、草木でボロボロの状態だ。何とかしてもらいたい。</p>	<p>手つかずの施設がたくさんあり、そうした状況のまま放置していることは申し訳ない。担当課に伝え、対応するようにする。少しずつ撤去できるところは撤去を始めているが、撤去費も高騰しており、バランスを考えながらやっていきたい。</p>
74	魚神山	<p>交番の駐在から、近所の危険な空き家の状態を見ておいてくれと言われた。そういった空き家はたくさんあるようだ。</p>	<p>空き家は多く、苦情があれば、建設課や支所が現場確認に行き、持ち主を探して何とかしてくれとお願いをしている。税務課が固定資産に関する通知を出すときに、空き家に関する案内も同封するようにしている。各担当が色々な対応をしているが、空き家問題は大きな課題の一つだ。</p>

令和7年度愛南ほっとミーティング 意見交換概要

	地区	要 望 ・ 質 問 内 容 等	回 答
75	魚神山	近所の空き家が、相続人が裁判所に行って相続放棄の手続きをし、国の所有にした、という話を聞いた。そうしたことができるのか。	土地をきれいな状態にして、国に管理をお願いし、所有を渡すことができる制度があるのは知っている。きれいな状態にするにも費用がかかるだろうし、国も全部の土地の所有や管理を引き受ける訳ではないと思うので、状況は分からない。相続放棄については法律の専門家に相談するのが間違いないと思う。
76	魚神山	津波で避難する場合、魚神山地域で安心して避難できるところがほしい。今の金毘羅さんのところでは、一晩過ごすことも無理だと思う。真っすぐ上がる道は両側がお墓で、もしも倒れたら上がることができない。他にも道はあるが、地盤がどうかも分からないが、整地したらちょっと広くはなると思う。自力で避難できない人をどうしたらいいのか心配だ。	自力での避難が難しい方に対しては、個別避難計画により、この地域にはこういう方がいて、どうやって助けられるか考えていく取り組みを防災対策課が地域と一緒に話し合いを進めている。 避難場所については、地域で話し合ってもらいたい。安心して避難できる場所であること、時間かけずに避難できるとことも両方大事なので、防災対策課にも相談して、地域でよく話し合って決めてもらいたい。